

平成29年度 第6回高士区地域協議会

次 第

日時：平成29年10月5日（木）午後6時30分～

会場：高士地区公民館 2階 中会議室

1 開 会

2 会長挨拶

3 議 題

協議事項

（1）雄志中学校生徒との意見交換会について

自主的審議

（2）テーマの整理について

4 その他

5 閉 会

雄志中学校生徒と地域協議会委員との意見交換会 実施計画（案）

1 開催の目的

雄志中学校区（諏訪区・津有区・高士区）の地域協議会において、「住み良いまちづくり」について協議を行う中で、これからの地域を担う子どもたちの考えを積極的に取り入れることを目的に、3区の地域協議会合同で雄志中学校の生徒との意見交換会を実施するもの。

また、意見交換会の中で、「中学生まちづくりワークショップ」の成果発表を行い、中学生のアイデアを地域へ発信する機会を設ける。

2 開催日時等

- ・日時 11月18日（土） 午後1時30分～
- ・会場 津有地区公民館 2階 大会議室（昨年度も使用）

3 出席予定者

- ・地域協議会委員 諏訪区12名、津有区14名、高士区12名 計38名
- ・雄志中学校生徒 8名程度（昨年度は9名）
- ・雄志中学校区青少年育成会議 5名程度
- ・中部まちづくりセンター職員 3名

4 内容

- ・13:30 【開会（会長挨拶、出席者紹介等）】
- ・13:40～【生徒による「中学生まちづくりワークショップ」の発表】
- ・14:00～【生徒と地域協議会委員による意見交換会】
- ・14:30 【閉会・生徒及び育成会議退席】
- ・14:40～【諏訪区・津有区・高士区地域協議会委員による意見交換会】
- ・15:30 【意見交換終了・委員及び事務局解散】

5 その他

- ① 関係機関への報告
市の広報対話課を通して、報道機関へ情報提供を行う。
- ② 雄志中学校生の送迎について
雄志中学校区青少年育成会議の担当者が送迎を行う。（調整中）
- ③ 委員の費用弁償について
出席委員への費用弁償（1,200円）を支払う。

マンガラート 記載方法

1. マンダラートとは

- 3×3のマスに思い付いたことを埋めていく発想法です。
- 仏教の曼荼羅（マンガラ）のように、真ん中に本題を置いて、周りを関連した事柄で囲んでいきます。

2. 記載手順

あらかじめ真ん中のシートに高土区地域協議会で協議した高土区の課題を記載しています。

- ①真ん中のシートにある本題に関連がある事柄を書き出していきます。
- ②次に書き出した関連のある事柄を中心としたシートを作成します。
- ③書き出した関連のある事柄を中心とし、その事柄を達成するために必要なアイデアを書き出していきます。

3. 注意事項

- ①書きだしたアイデアには正解も不正解もありません。
できるだけ多くのアイデアを出してください。
- ②アイデアを書き出していく中で、他の本題のアイデアと被っても問題ありません。
- ③できるだけ簡潔に書き出してください。文章や具体的にするのは次のステップで進めていきます。

例) ■ 大谷翔平が花巻東高校 1 年時に立てた目標達成表

体のケア	サプリメントをのむ	FSQ 90kg	インステップ改善	体幹強化	軸をぶらさない	角度をつける	上からボールをたたく	リストの強化
柔軟性	体づくり	RSQ 130kg	リリースポイントの安定	コントロール	不安をなくす	力まない	キレ	下半身主導
スタミナ	可動域	食事 夜7杯 朝3杯	下肢の強化	↑ 体を開かない	メンタル コントロール をする	ボールを 前で リリース	回転数 アップ	可動域
はっきりとした目標、目的をもつ	一喜一憂しない	頭は冷静に 心は熱く	体づくり	コントロール	キレ	軸でまわる	下肢の強化	体重増加
ピンチに強い	メンタル	雰囲気 に流されない	メンタル	ドラ1 8球団	スピード 160km/h	体幹強化	スピード 160km/h	肩周りの強化
波をつくらない	勝利への執念	仲間を 思いやる心	人間性	運	変化球	可動域	ライナー キャッチ ボール	ピッチングを増やす
感性	愛される人間	↓ 計画性	あいさつ	↓ ゴミ拾い	部屋そうじ	↓ カウント ボールを 増やす	フォーク 完成	スライダーのキレ
思いやり	人間性	感謝	道具を大切に使う	運	審判さんへの態度	遅く落差のあるカーブ	変化球	左打者への決め球
礼儀	信頼される人間	継続力	プラス思考	応援される人間になる	本を読む	ストレートと同じフォームで投げる	ストライクからボールに投げるコントロール	奥行きをイメージ

(注) FSQ、RSQは筋トレ用のマシン (出所) スポーツニッポン

出所：大谷を怪物にした花巻東高校の目標達成用紙 (NEWS PICS)

高士区地域協議会 自主的審議に係る『テーマ設定』について

1. これまでの自主的審議

高士区地域協議会では、これまで下記のテーマについて、検討してきました。

また、前期の委員は「**②持続可能なコミュニティのあり方**」をテーマとし、協議を進めてきました。

については、今後の高士区地域協議会としての方針を決めるべく、自主的審議のテーマを検討してください。

2. 検討のポイントについて

- ・高士区の実情にふさわしい内容か
- ・具体的な手法が見えてくるか。
- ・それぞれの検討事項で課題となるものはなにか。
- ・取組の採算性はどうか。
- ・取組の実施主体として相応しい団体や人物は考えられるか。

■高士区地域協議会で検討してきたテーマ

高士区地域協議会委員が考える今後検討していきたい事項	これまでの取組・意見等（概要）
<p>①農業を始めとする高士区の産業活性化策を検討したい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 高士区の特産品を掘り起し、磨き上げて地域産業の活性化と外貨獲得につなげたい。 ➢ 高士区産のブドウの付加価値を高める方策を検討したい。 ➢ 地元産の大豆の加工工場を誘致できないか研究したい。 ➢ 清里・三和区を含めた新しい観光ルートを提案し、地域の製品の魅力を発信したい。 ➢ 農業後継者を育成するための方策を検討したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 高士区の農産品を掘り起こすのは難しい。 ○ 高士区の特産品として挙げられるもの →山ブドウ、いちじく、野いちご（ポイセンベリー）、ブルーベリー マスカットベリーなど ※どれも栽培が難しく、商品として売り出すことは難しい。 <p>【結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 検討の結果、成果を上げることは難しいと判断した。
<p>②持続可能なコミュニティのあり方を検討したい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 若い世代との価値観の融合策（意見交換の場を設ける等）を検討したい。 ➢ 新しい住民参加のあり方やコミュニティの枠組みを検討したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 若い世代との意見交換の場「高士区未来づくり懇談会」を開催した。 →懇談会に参加した有志により、「雪まつり実行委員会」が立ち上がった。
<p>③転入者を増やし人口減少スピードを緩める方策を検討したい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 遊休地を住宅用地として提供するための方策を検討したい。 ➢ 空き家への入居を促進する方策を検討したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 未検討
<p>④地域内外の住民との交流を拡大するための方策を検討したい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 国道 405 号線に道の駅を開設できないか研究したい。 ➢ 北方城跡の活用策を検討したい。 ➢ 若者が中心となった地区全体の新しいイベントを開催できないか検討したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 若い世代を中心とした「雪まつり実行委員会」が平成 27、28 年度に「高士ルミネ」を開催した。
<p>⑤運転ができなくても安心して生活していくための方策を検討したい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 日常の買い物の利便性を維持するための方策を検討したい。 ➢ 通院等の移動手段を確保するための方策を検討したい。 ➢ 特別養護老人ホームを区内に整備できないか研究したい。 ➢ 高齢者のための居住施設が整備できないか研究したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 未検討

【高士区地域協議会】今後の取組の方向性について (高士の未来づくり懇談会を踏まえて)

今年1月に行った「高士の未来づくり懇談会」で、地域の皆さんからいただいたご意見をふまえ、今後の取組について協議した結果を項目ごとにまとめました。

1 高士スポーツ広場について

- ① 平成30年で廃止になる計画があることから、廃止となる前に地域で記念イベントを行いたい。また、卒業生からも協力を得て、実施したい。
- ② スポーツ広場と距離が離れる程、町内間の温度差を感じるため、高士区全体が高士スポーツ広場に関心を持つような仕掛けが必要。
- ③ 廃止になった後も地元で活用するために、高士地区体育協会が管理できないか。
- ④ 市から施設を譲り受けた場合に耐震基準を満たしていない施設を地元が管理するのは難しいのではないか。

2 地域おこし協力隊の活用など移住者を増やす取組

- ① 高士区でも活用することができるか、勉強したい。
- ② 高士区の発展には「子供を増やす」ことが必要なため、オシャレな古民家を提供するなど、高士の魅力づくりを学ぶ必要がある。

3 研修会の開催について

- ① 地域協議会の方向性を定めることが必要であり、テーマを絞り込み、どれだけのことを実現するか線引きが大切。
- ② 地域づくりに精通した人を高士区に招き、地域を見てもらい、高士区の地域づくりはどのように進めればよいかを助言をもらいたい。
- ③ 講師等から客観的に見てもらうことで解決方法が導き出せるのでは。
- ④ 講師に任せ切るのではなく、あくまで実行部隊は地域住民であるべき。
- ⑤ 大阪でまちづくり等を専門に行っている企業があり、大学教授も所属しているので、こういった専門家からきてほしい。
- ⑥ 妙高市や三条市では地域づくりのプロが入って成功した事例があるため、他市の成功事例を参考に講師の選定を行うのがよい。
- ⑦ 地域の方に「地域づくりは楽しいもの」と思ってもらえるような会にしたい。
- ⑧ 地域協議会主催で行うのならば、若い世代を始め、町内会長世代からも参加してほしい。
- ⑨ 地域の行事やまちづくりを盛り上げるには、NPO法人の立ち上げが必要と考えるため、NPO法人の立ち上げ方を学ぶ。

高士区 課題解決マンドラシート

① 農産品の掘り起し	② 農村レストラン	③ 岩の原葡萄園	①	②	③	①	②	③
④ 新品種の栽培	記載例 農業による産業活性化	⑤ カーブドッチ	④	事柄 地域内外の交流拡大	⑤	④	事柄 運転できなくても安心できる生活	⑤
⑥ 6次産業化	⑦ 特産品開発	⑧ 後継者確保	⑥	⑦ ↑	⑧	⑥	⑦	⑧
①	②	③	記載例 農業による産業活性化	② 地域内外の交流拡大	③ 運転できなくても安心できる生活	①	②	③
④	事柄 持続可能なコミュニティ	⑤	④ 持続可能なコミュニティ	本題 高士区の課題	⑥ 人口減少抑制	④	事柄 人口減少抑制	⑤
⑥	⑦	⑧	⑥ 地域おこし協力隊	⑦ 研修会の開催	⑧ その他	⑥	⑦	⑧
①	②	③	①	② ↓	③	①	②	③
④	事柄 地域おこし協力隊	⑤	④	事柄 研修会の開催	⑤	④	事柄 その他	⑤
⑥	⑦	⑧	⑥	⑦	⑧	⑥	⑦	⑧